

Validelight

今年で結成18年目を迎えるValidelight。
生バンドスタイルにHIP HOPの要素やデジタル
サウンドも柔軟に取り入れ、ROCKでFUNKYで
キャッチーなサウンドメイクが特徴の
広島代表ミクスチャーロックバンド。

[L→R] Ba. IMAZ Dr. 羽仁拓也 Vo. 516 a.k.a CHAKKAMAN Support Gt. KSN

本誌収録の「流星Good-Bye」に込めた思いとは-----

紛れもなく本誌収録バンドの中で一番長い活動歴を持つバンドであり広島バンドシーンにおいてバンド活動の酸いも甘いも噛み分けた存在である。2001年結成で、当時のオリジナルメンバーは、Vo.516、Ba.IMAZの二人だけであるがオリジナルメンバーの活動を12年経てDr.羽仁拓也が加入したのが2013年である。2016年より同じく10年以上のキャリアを積んできたCAMELCLUTCH,S-QUAWKのギタリストKSNがサポートメンバーとして加入。現在のメンバーに至る。長ければ良いというものでもないのは承知の上だが、これだけの長い活動歴を持つバンドは特に広島のパンドシーンにおいて少ないのもまた事実だ。オリジナルメンバーでの活動が12年と長かっただけにメンバーチェンジ当初はとてども順風満帆とは程遠い状態だったとメンバーは言う。裏切り者呼ばわりされたり、心ない一言を浴びせられたり、なぜ残ったメンバーがここまで言われないといけないのか、いっそ辞めた方が正解だったのか...当然ながら、人は独りでは生きていけない。バンドも同じである。Validelightが、ここまで長いこと続けられたのは幸運だったし、周りにすごく恵まれていたとも言える。

大人になれないone of dreamers

本誌収録の「流星Good-Bye」のリリックの一節である。

この 大人になれない という言葉には二つの意味が込められているという。

文字通り子供っぽい童心を抱いたまま、という意味と成熟する前に儚く消えてしまうという意味も含まれている。

18年ものキャリアのおかげでValidelightはかけがえのない仲間に出会ってきた。切磋琢磨しあってきた同志であるバンド達、音楽業界関係者達、Validelightを応援してくれてきた人達。

しかし、その18年ものキャリアのせいでそのかけがえのない仲間達の中には、解散したバンド、今はもう別の道を歩むことになった音楽関係者、ライブハウスに来なくなった人達もたくさんいる。そこに変わらずずっといるということは素晴らしいことである反面、時にとても残酷だ。悲しい思いや、寂しい別れを繰り返しながらValidelightの活動は今年18年目を迎える。

「流星Good-Bye」は違う道を選択した仲間とまた何らかの形で再会出来るよう、別れに願いを込めて書かれた曲だ。

「俺らがやってくればまた会えるかもしれないから。」

そうボーカルの516は言う。

「今まで、色々な人たちに会わせてもらってすごく良くしてくれた人達もいっぱいいて、とてもじゃないけど自分たちの力だけじゃ今バンドやれてないと思うんです。誰でもここまで続けられるわけじゃないし、俺らはすごく恵まれていると思うんです。なんかもう自分たちだけのことじゃない感じ。」

ベースのIMAZが笑いながら言う。

去っていった人たちの分まで背負って活動していく。こう言うと、非常に大それた事に聞こえるだろう。しかし、紛れもなく今はもういない人達から教えてもらった事、送ってもらった言葉、一緒に笑って泣いた時間、それら全てがValidelightがValidelightを続ける理由の一つになっていることは明白だ。

流星Good-Bye Everyone hope return

何らかに形で再会を望みながら、ひたむきに、前向きにValidelightは18年目へ突入する。

「DRAMATIC FLIP」 [ライブ会場・ネット販売]



1. Today
2. 流星Good-Bye
3. This is my life

¥1,000

「REVIVARISE」 [ライブ会場・ネット販売]



- 1.Rebirthday
2. 報いのfanfare
3. アカツキニ

¥1,000

5th mini album「Hentaitainor」 [ライブ会場・各CDショップネット販売]



- 1.B.A.D
- 2.妄想24FREEDOM
- 3.ROCK THE HOUSE
- 4.YACCHATTA
- 5.Borderline
- 6.真夜中の乱闘Party Time

¥1,600

バリは広島弁で『すこく・とても』の意。デライトは『喜び・楽しみ』を表す Delight から来ており、バリデライトとはそれらを組み合わせた造語である。生バンドスタイルにHIP HOPの要素やデジタルサウンドも柔軟に取り入れ、ROCKでFUNKYでキャッチーなサウンドメイクが特徴の広島代表ミクスチャーロックバンド地元広島でバリデライトが企画・運営したイベントで、のべ1000人の参加者と共に世界一巨大な折り鶴を作りギネス記録達成。その模様を日本テレビ24時間テレビにて放映された。09年に広島タワーレコード限定でリリースされたシングル「千羽歌」がEXILEや柴咲コウを抑えての1位を獲得し、10年にはシングル「劇的ドリーマー」が広島NHK-FMのOP曲に選ばれ、リリースツアー「劇的新未来TOUR」では東京ワンマン公演で約200人、広島クアトロでのワンマン公演では約350人を動員した。11年目を迎え、2012年12月24日をもってVo.TOHHRU Dr.TAMSONGが脱退。2013年より新メンバーにDr.HANIを迎えて4人体制で新生Validelight始動! 2015年5月6日に新体制Validelight初となるミニアルバム「Hentaitainor」を馬鹿レコードよりリリース!! 2015年末をもってGu.IDA10の脱退に伴い、2016年よりCAMELCLUTCH,S-QUAWKのギタリストKSNがサポートメンバーとして加入。よりラウドでミクスチャーなサウンドに磨きかけ更にロック色の強まった熱いライブは必見!その勢いは益々加速している!!!! 結成18年目にして今なお進化し続けるrepresent広島ミクスチャーロックバンド。